

み
せ
た
い
ッ
！

利休

現代の
茶陶

平成29年
1月2日(月)
3月12日(日)
お正月は、1月2日(月)から開館。





主催 | 茨城県陶芸美術館 助成 | 芸術文化振興基金
開館時間 | 午前9時30分から午後5時まで (入場は午後4時30分まで)
休館日 | 月曜日 (ただし、1月2日 (月)、9日 (月) は開館し、10日 (火) 休館)
観覧料 | 一般720 (570) 円 高大生510 (410) 円 小中生260 (210) 円
* () 内は20名以上の団体料金。満70歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方
[ただし1人につき1人まで] は無料。土曜日は高校生以下無料。

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM
〒309-1011 茨城県笠間市笠間2345番地 [笠間芸術の森公園内]
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012 URL <http://www.tougeimuseum.ibk.ed.jp/>

現代の茶陶

平成29年
1月2日(月)
3月12日(日)

茶陶とは、茶碗や水指など、お茶席で用いられるやさものの総称です。桃山時代に千利休が侘び茶を大成すると、楽焼や美濃焼、備前焼など国産の茶陶が隆盛を迎えます。江戸時代には大名、商人が茶事を嗜み、京焼や萩焼をはじめ茶陶の生産が各地に広がりました。

近代では、昭和の初めごろから美濃の荒川豊蔵や備前の金重陶陽などの、伝統的な産地で活動する個人作家たちが、自身の表現としてその制作に取り組みだします。戦後、これらの作家が重要無形文化財保持者(人間国宝)の認定を受けたことや、日本伝統工芸展の開催などをきっかけに、個人作家による茶陶の制作はますます広がりを見せます。志野の鈴木藏や備前焼の伊勢崎淳は、産地の伝統的な技法に、新たな造形表現を取り入れた作風を展開します。さらに近年では、産地や窯元などの背景を持たない作家たちが、茶陶を自身の創作へと積極的に取り入れています。竹村友里や桑田卓郎ら若手作家は、茶碗の形状を活かしつつ、流れるようなフォルムで側面を形作った作品や、伝統的な梅華皮の技法を肥大化した作品など、伝統的な茶陶の形や制作上の制約を逆手に取った、新しい感覚の茶陶を生み出しています。

本展では重要無形文化財保持者から現代の若手作家まで、戦後の茶陶の展開を約130点の作品によって展観します。進化を続ける茶陶の「今」を、ぜひご覧ください。



1



2



3



4



5

表面作品=すべて左から 後列：新里明士「光水指」2011年／五味謙二「ふた、モノ。」2016年／松井康成「三層象裂瓷水指」1983年 当館蔵／植葉香澄「色絵水指」2010年 当館寄託
中列：佐藤雅之「甲(はみい)(黒)」2016年／東香織「かい」2016年／水元かよこ「うさみみPOP」2016年／桑田卓郎「白金彩灰釉碗」2010年
前列：十五代樂吉左衛門「焼貫黒茶碗 青狸」1993年 当館蔵／三輪壽雪「鬼萩割高台茶碗」1998年 当館蔵

裏面作品=1：吉村茉莉「チャセンクセナオシ」2016年／2：穂高隆児「三段重箱」2016年／3：伊勢崎晃一朗「引出黒面取茶盤」2011年／4：羽石修二「察変茶碗」2015年／5：和田的・佐藤卓・金子賢治「白器香炉 LoLoLoLoLo」2010年 当館蔵／6：若杉聖子「白磁茶箱」2011年 当館寄託／7：澤田勇人「赫彩茶碗」2016年



6



7

「本展出品作家と当館館長による座談会」

日時 | 平成29年1月28日(土) 13:30～15:00
場所 | 当館1階多目的ホール(聴講無料)
講師 | 佐藤雅之氏、穂高隆児氏、澤田勇人氏、Kei condo氏、金子賢治(当館館長)
定員 | 120名(先着順)

ワークショップ「手びねりで世界に一つだけの茶碗を作ろう」

日時 | 平成29年2月4日(土) 10:00～15:00
場所 | 当館地階研修室 講師 | 東香織氏(本展出品作家)
内容 | 手びねりによって、参加者一人一人が自分好みのオリジナル茶碗をつくるワークショップです。
定員 | 20名(先着順) 参加費 | 無料 申込方法 | 電話またはFAXにて事前申込
対象 | 高校生以上 受付開始日 | 12月23日(金) 9:00～ ※休館日は受付できません。
特別協力 | 笠間陶芸大学校
※企画展チケットが必要です。

ギャラリートーク ※企画展チケットが必要です。

担当芸員が展覧会をご案内します。
日時 | 平成29年1月14日(土)・3月4日(土) 13:30～

高校生による呈茶会 ※日程、参加校等は変更になる可能性があります。

日時 | 平成29年2月12日(日)(笠間高校茶道部)
2月26日(日)(水戸桜ノ牧高校茶道部)

場所 | 当館地階オープンギャラリー
内容 | 県内高校の茶道部員がたてたお茶をお楽しみください。
定員 | 先着50名 参加費 | 200円

音声ガイド

会期中は入口にて県内高校の放送部員がナレーターをつとめる音声ガイドの貸し出しを実施しています。 使用料 | 無料
協力 | 水戸第一高校・水戸第三高校・笠間高校 各放送部

ごいっしょに

「鳥取県立博物館・田辺市立美術館所蔵名品展
昭和洋画のバイオニアたちー前田寛治と佐伯祐三を中心にー」
2017年1月2日(月)～3月12日(日)／笠間日動美術館／TEL | 0296-72-2160
「奇想天外! アートと教育の実験場 筑波大学〈総合造形〉展」
2016年11月3日(木・祝)～2017年1月29日(日)／茨城県近代美術館／TEL | 029-243-5111
「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」
2017年2月11日(土)～4月2日(日)／茨城県近代美術館

交通案内

電車=JR常磐線で上野～友部駅(特急70分)／友部駅から「かさま観光周遊バス」(料金100円、定員36名)で15分／友部駅でJR水戸線に乗り換え笠間駅(9分)下車／笠間駅からタクシーで5分 車=北関東自動車道友部インターから10分・笠間西インターから15分／常磐自動車道 岩間インターから25分・水戸インターから30分 駐車場=笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用下さい。※会期中、芸術の森公園内でイベントがある場合は、駐車場が有料になりますが、展覧会をご覧頂く方には美術館受付で返金いたします。

割引券
この券を提示いただくと、1枚につき
4名様まで観覧料が半額になります。
(但し観覧料は別途必要です)

